

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 647 号	氏名	植原 亮平
学位審査委員	主査	江口 晋	
	副査	佐々木 均	
	副査	中島 正洋	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、胃早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後の六君子湯内服の効果を検討しており、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 プロトコールに基づき ESD 後の有症状患者に対し、ランダム化比較試験を行っている。また胃排出能を <math>^{13}\text{C}</math> 呼気試験、上部消化管症状を Gastrointestinal Symptom Rating Scale (GSRS) で評価し群間比較しており、統計学的解析法、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 ESD 後に胃排出能は低下していたが、六君子湯投与による改善は認めなかった。しかし、上部消化管症状は特に胃上部領域での便秘症状、幽門部領域での心窩部痛の改善が見られ、proton pump inhibitor (PPI) 投与でも症状が改善しない症例には六君子湯の併用が有効である可能性が示唆された。</p>			
<p>以上のように本論文は胃癌内視鏡治療に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			